

3 学修状況 (学部)

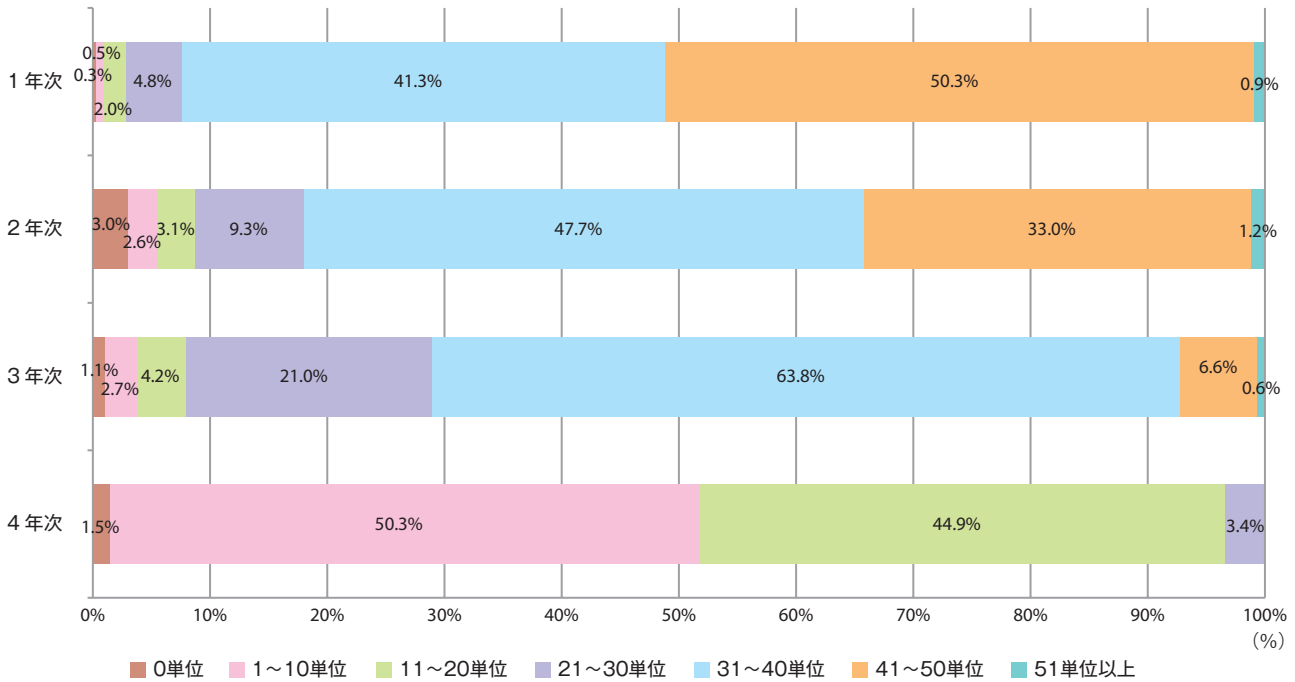
3-1 学業成績

修得単位数は、1年次～2年次に集中しています。

卒業生 GPA の平均値・中央値は、ほぼ横ばいから微増で推移しており、3-1-7GPA 分布からは、2015年度～2019年度の工学部卒業生の GPA のピークの層が徐々に高い値の方へシフトしている傾向が見られます。

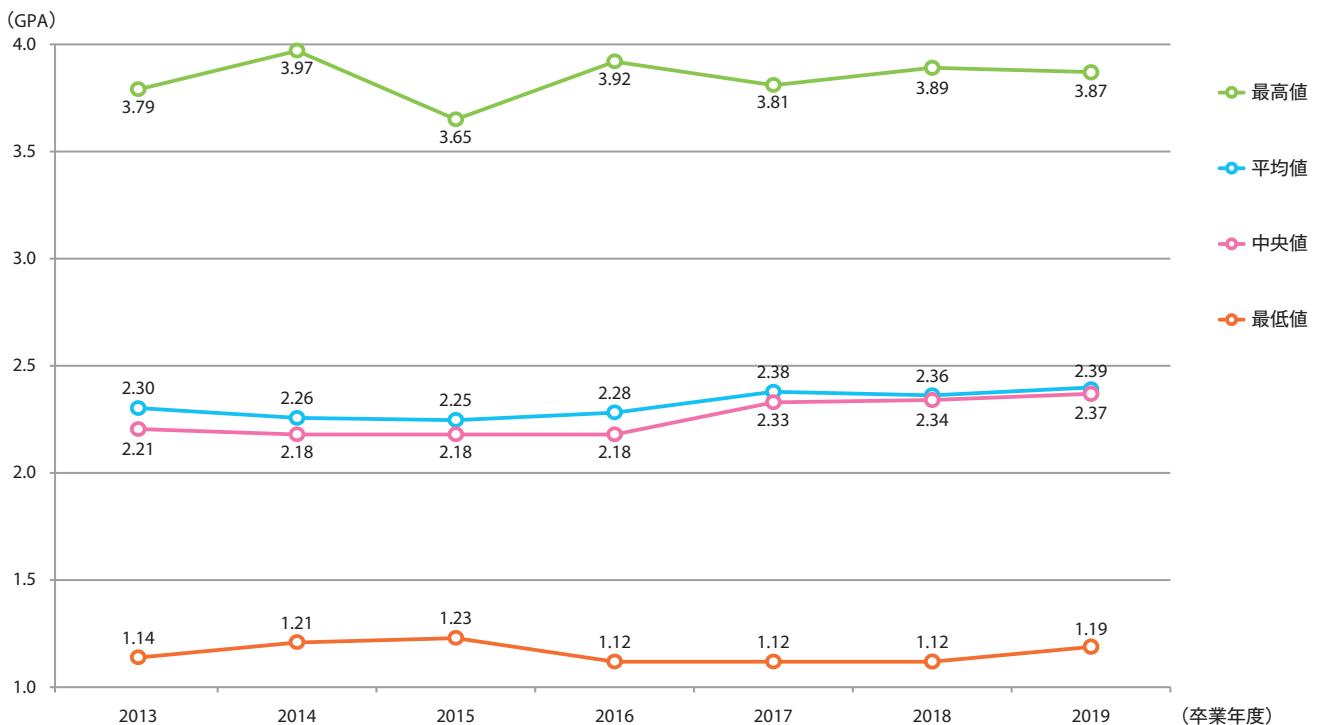
1年前期および1年後期の各時点における GPA1.5 ないし 1.0 未満の成績不振学生の割合は、2017年度以降3年連続で減少しています。

3-1-1 単位修得状況 (2020年3月31日現在)



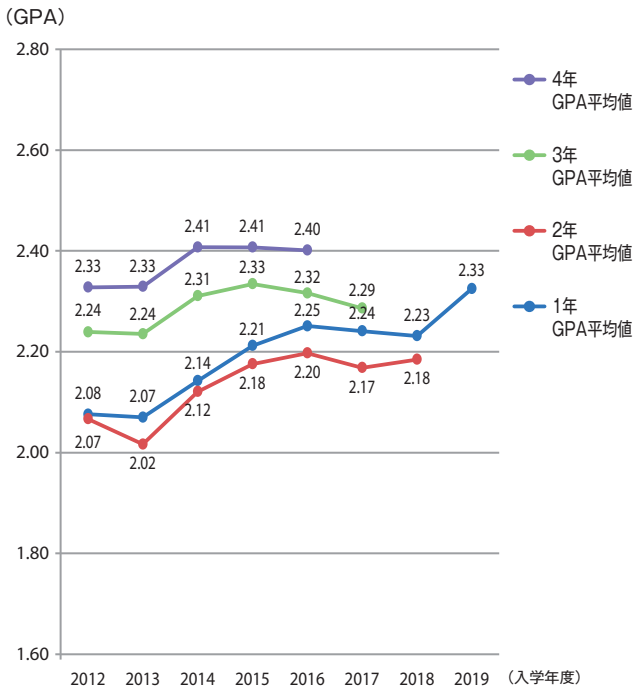
- 2019年度の学年毎の修得単位数の状況 (成績評価が認定の単位数を含む)
- 修得単位数状況 (%) = 各学年の修得単位数区分の人数 ÷ 各学年の2020年3月31日時点在籍者数
- 4年次在籍者数には卒業者を含む
- 2019年度中の教授会で承認された退学者を除く

3-1-2 卒業生 GPA 推移

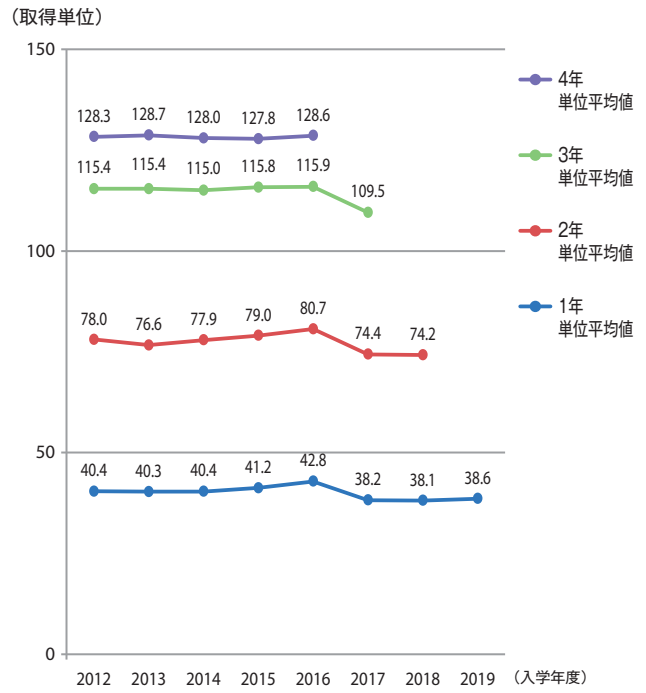


- 各年度卒業生の第1 Semester～第8 Semesterまでの通算 GPA (教職科目を除く)

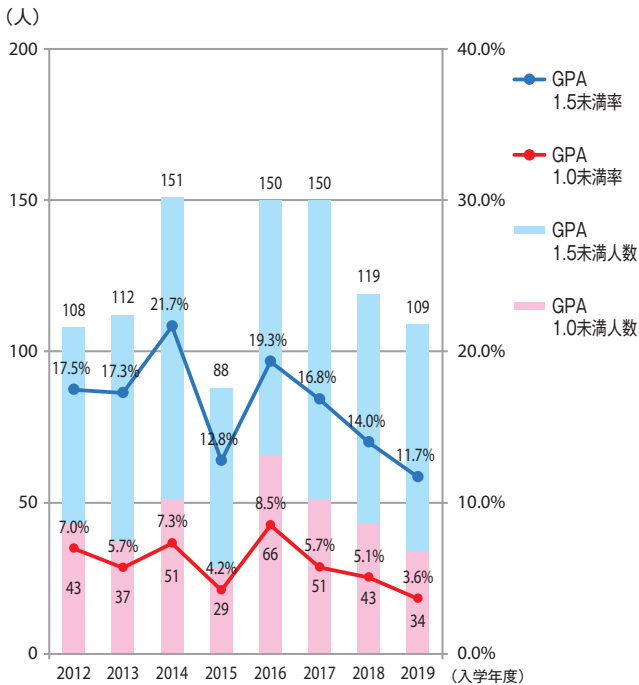
3-1-3 入学年度别平均 GPA 推移



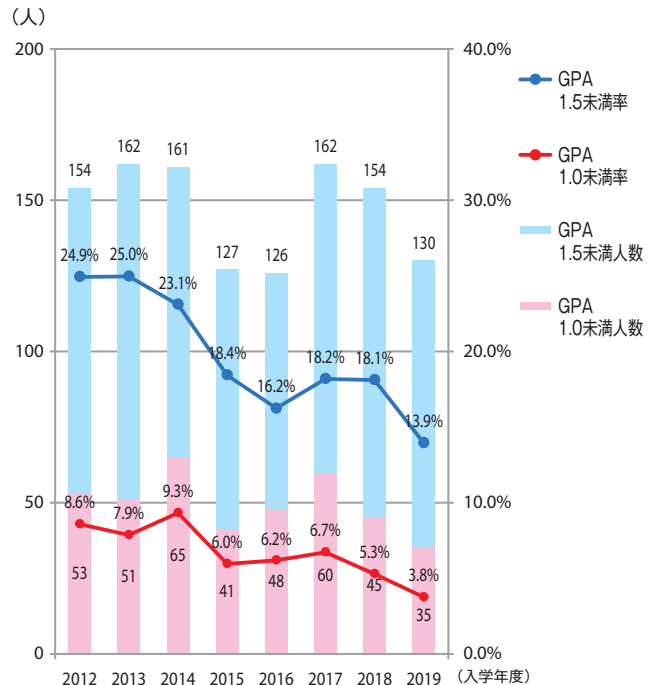
3-1-4 入学年度别平均修得单位数推移



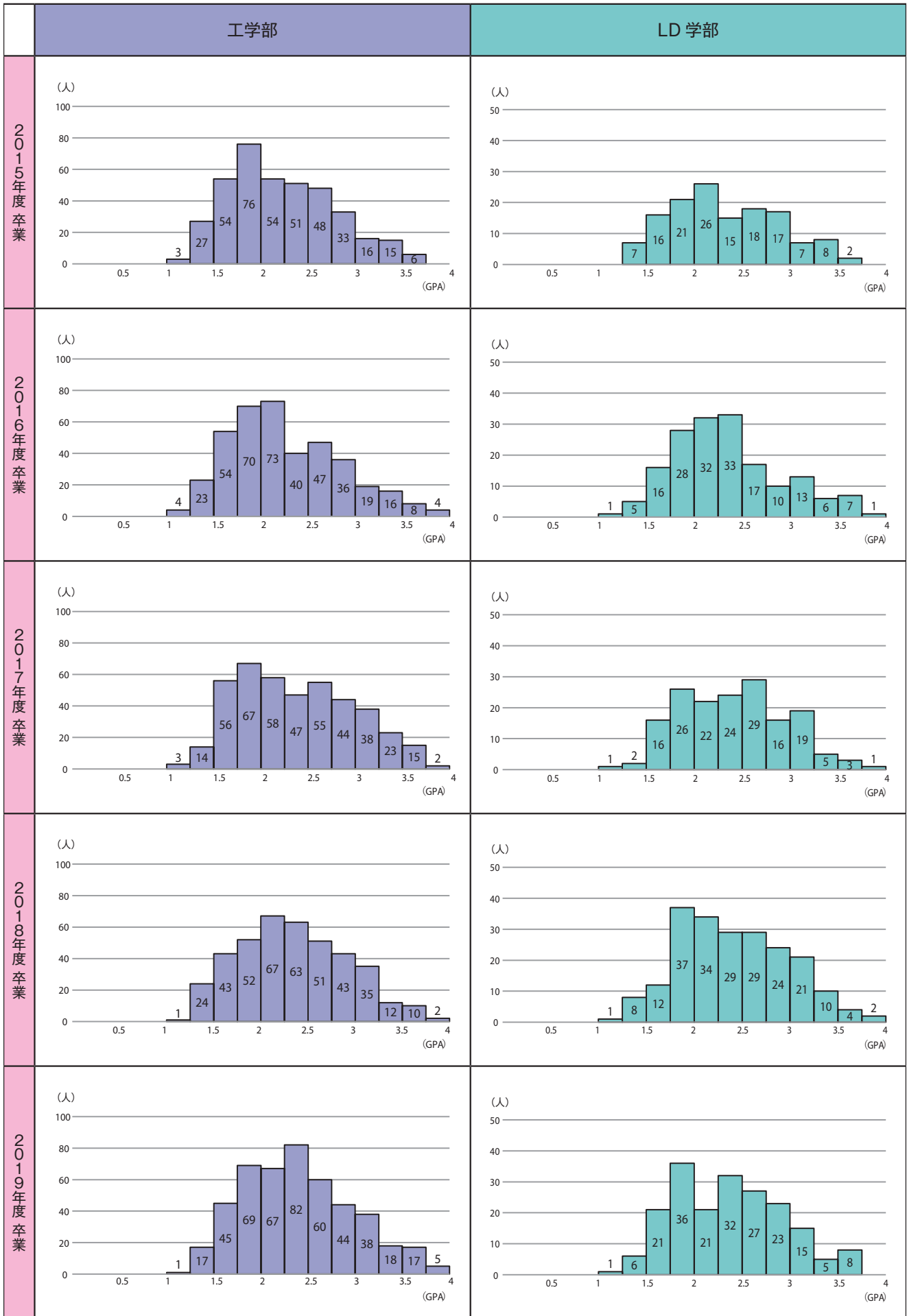
3-1-5 入学年度别 GPA1.5 未滿者推移 (1 年次前期末)



3-1-6 入学年度别 GPA1.5 未滿者推移 (1 年次後期末)



3-1-7 卒業年度別卒業生 GPA 分布



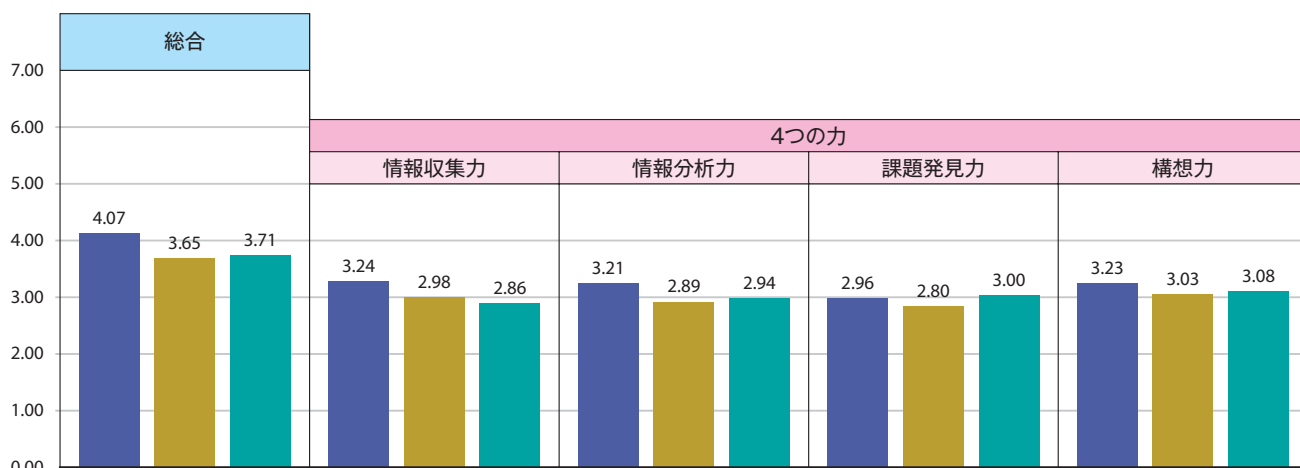
3-2 社会人基礎力 (PROG)

リテラシーの平均値は、全学年で工学部が他の2学部よりも高く、反対にコンピテンシーの平均値は、工学部よりも建築学部およびライフデザイン学部の方が高くなっています。2019年度・2020年度と2年間実施した2019年度入学生の変化を見ると、リテラシーでは、「情報収集力」と「情報分析力」が全学部で上昇しており、コンピテンシーでは、「感情制御力」と「課題発見力」が上昇しています。一方で、リテラシー総合値は、全学部において2年生時の平均値が下がっています。また、学部別に見ると、工学部およびライフデザイン学部において、コンピテンシー9項目のうち6項目の能力の平均値が上昇しています。学年間の比較では、特に工学部において、1・2年生よりも3年生の方がコンピテンシーの平均値が高い傾向にあります。

3-2-1 PROGテスト結果・リテラシー平均値

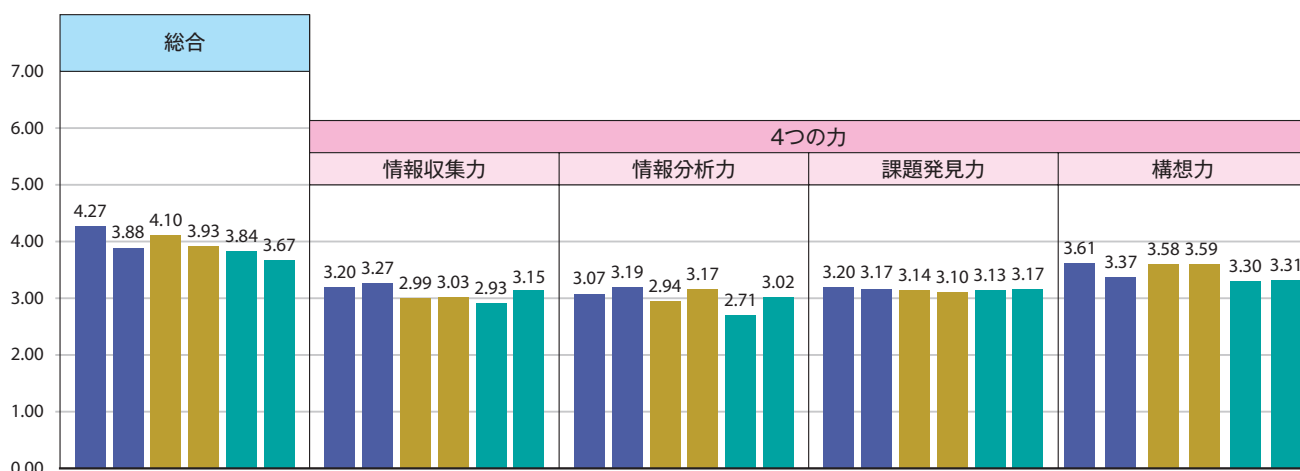
■ 工学部 (E, T, C, K)
 ■ 建築学部 (A)
 ■ LD学部 (CD, SD, MC)

(1) 2018年度入学生 (3年生)

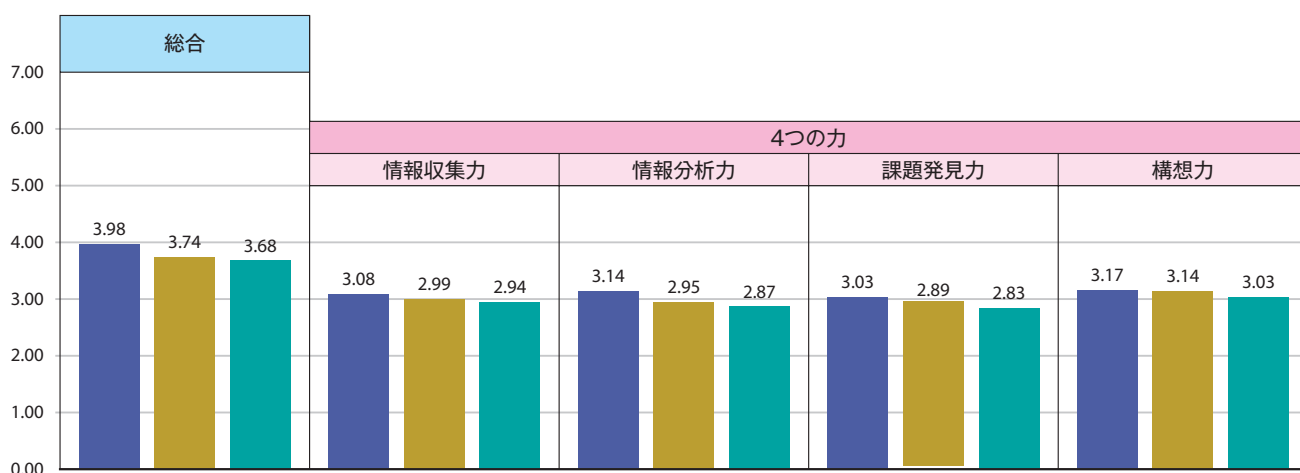


- リテラシーレベルは、「総合」7段階、「4つの力」5段階で表示
- 実質的な比較をし易くするため、工学部建築学科を工学部から分けて、建築学部と同じ色で表示している

(2) 2019年度入学生 (左グラフ：1年生時 右グラフ：2年生時)



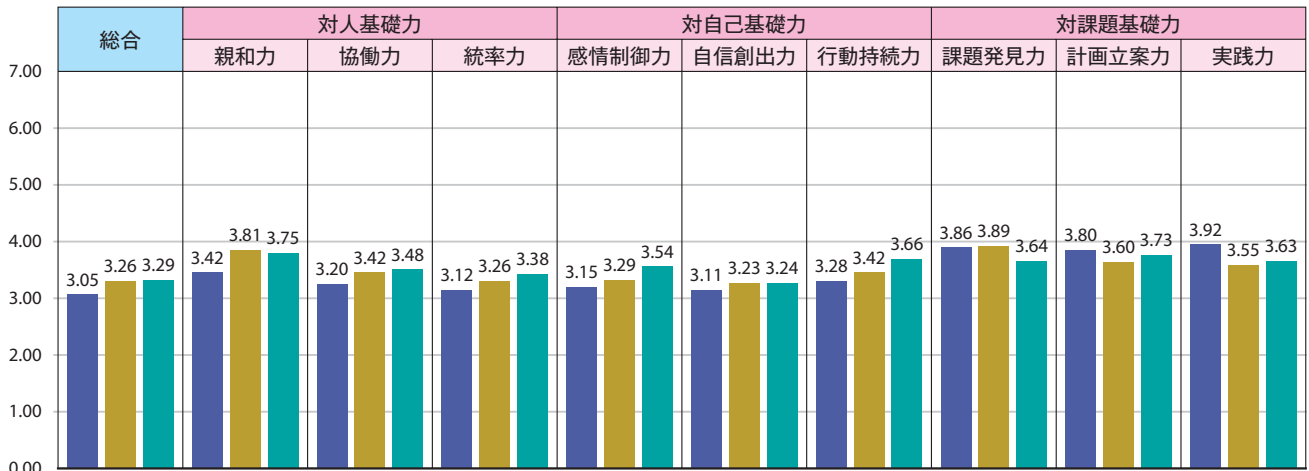
(3) 2020年度入学生 (1年生)



3-2-2 PROG テスト結果・コンピテンシー平均値

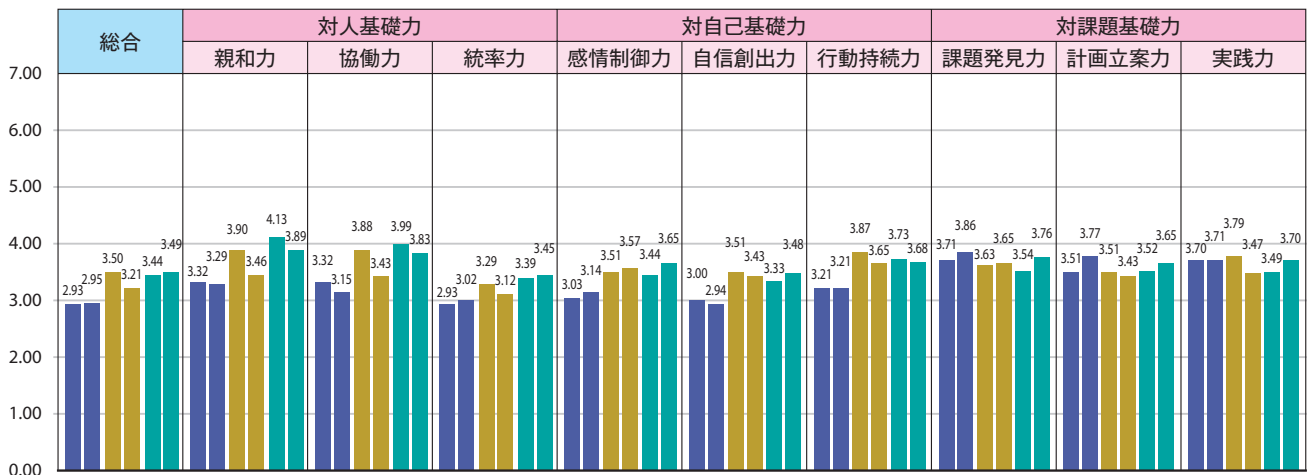
■ 工学部 (E, T, C, K)
 ■ 建築学部 (A)
 ■ L D学部 (CD, SD, MC)

(1) 2018 年度入学生 (3 年生)

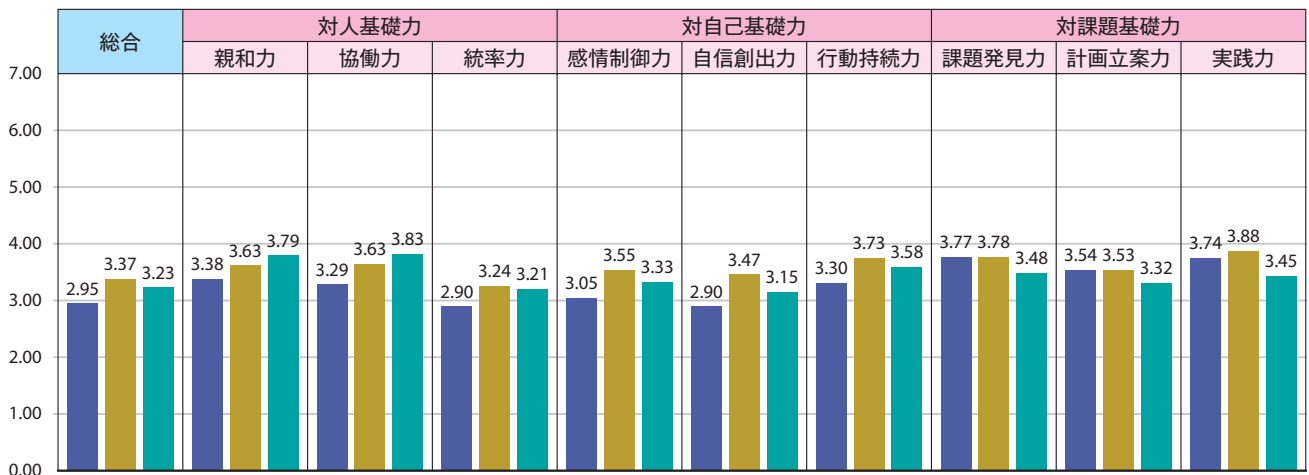


- コンピテンシーレベルは、「総合」～「9つの構成要素」まで全て7段階で示される
- 実質的な比較をしやすくするため、工学部建築学科を工学部から分けて、建築学部と同じ色で表示している

(2) 2019 年度入学生 (左棒：1 年生時 右棒：2 年生時)



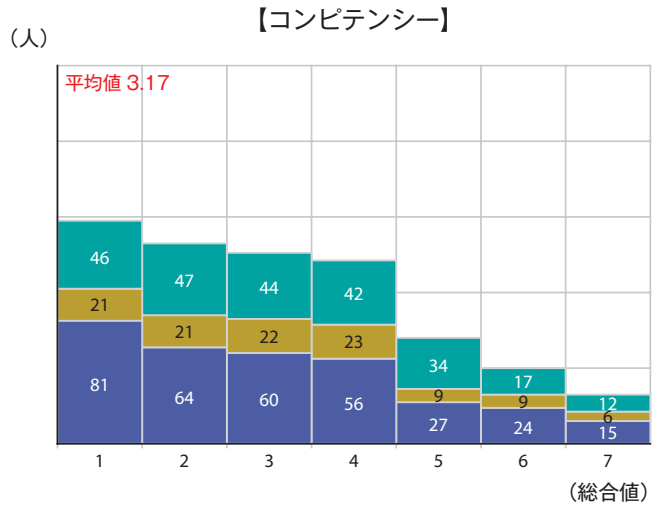
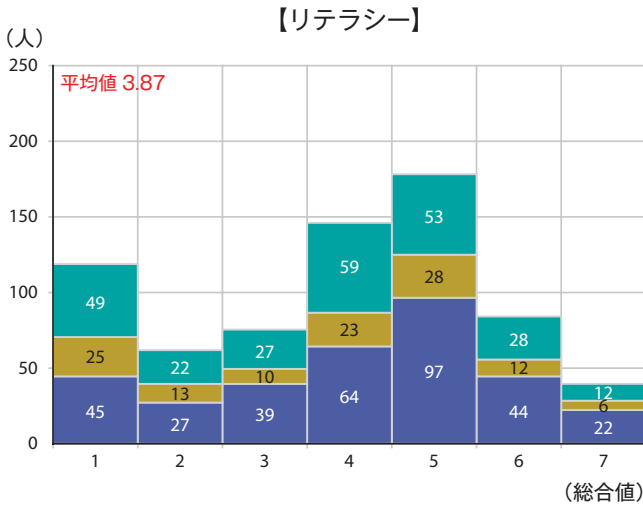
(3) 2020 年度入学生 (1 年生)



3-2-3 PROG テスト結果・総合値分布

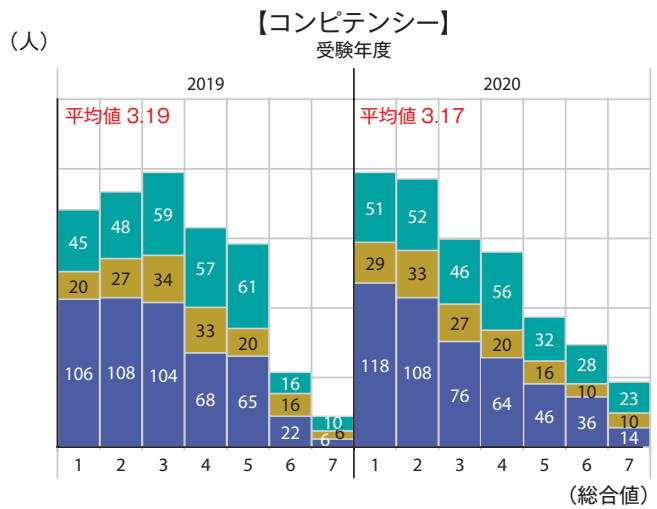
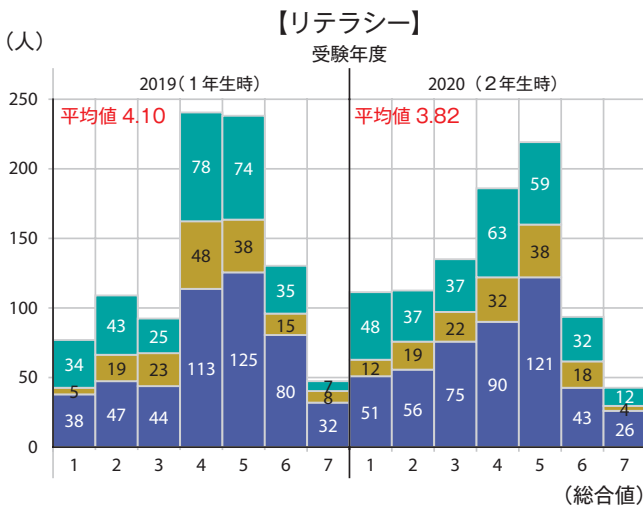
- LD学部 (CD, SD, MC)
- 建築学部 (A)
- 工学部 (E, T, C, K)

(1) 2018 年度入学生 (3 年生)

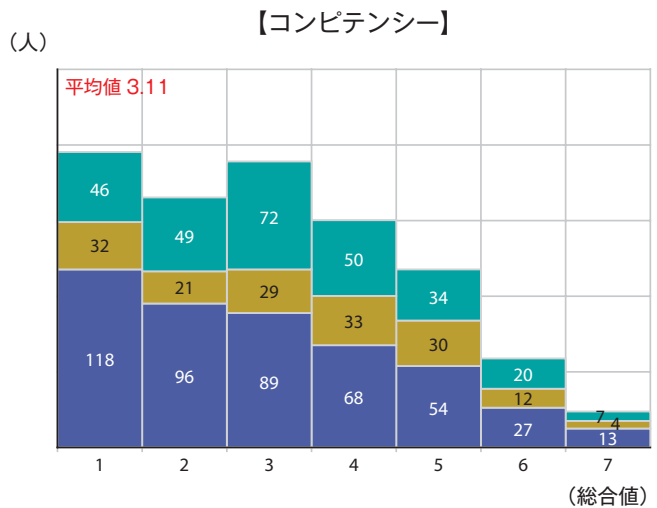
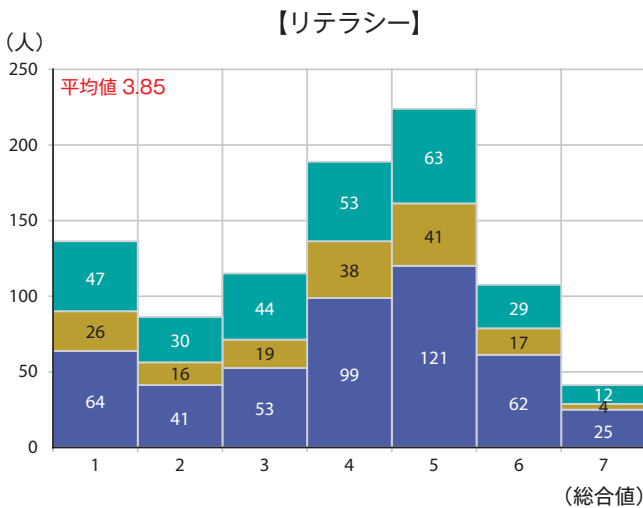


●実質的な比較をし易くするため、工学部建築学科を工学部から分けて、建築学部と同じ色で表示している

(2) 2019 年度入学生 (2 年生)



(3) 2020 年度入学生 (1 年生)



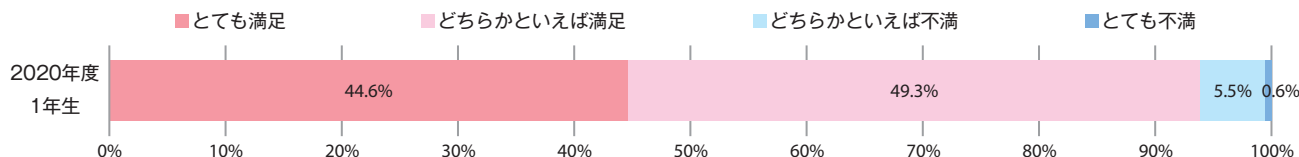
3-3 大学満足度

2020年度入学生の入学満足度は93.9%の高水準ですが、一方で2年生で入学してよかったと思う学生の割合は82.8%、3年生では77.9%であり、入学満足度は、学年が上がるにつれて下降しています。学生生活は、上級学年ほど充実している学生の割合が上がっています。また、授業の質に対しては、約半数が満足しており、1割の学生は不満を感じています。

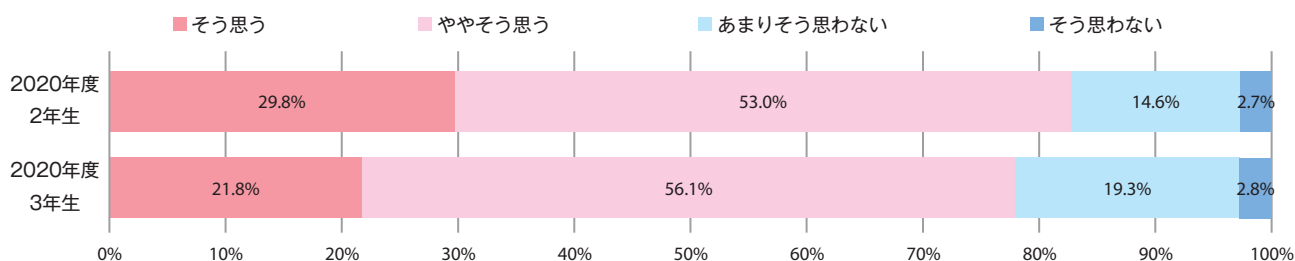
3-3-1 在学生の満足度（共通学生調査2019・PROG調査2020）

(1) 入学満足度（PROG調査2020）

あなたは、本学（現在の学科に）入学したことに、どの程度満足していますか。

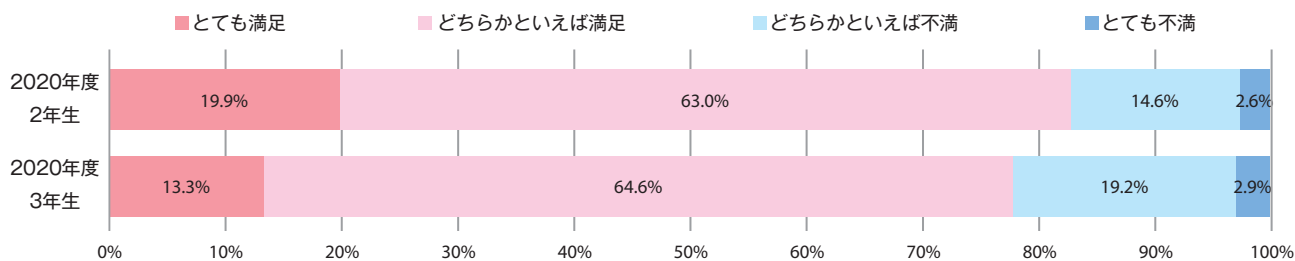


これまでの大学生活を振り返って、本学（現在の学科）に入学してよかったと思いますか。



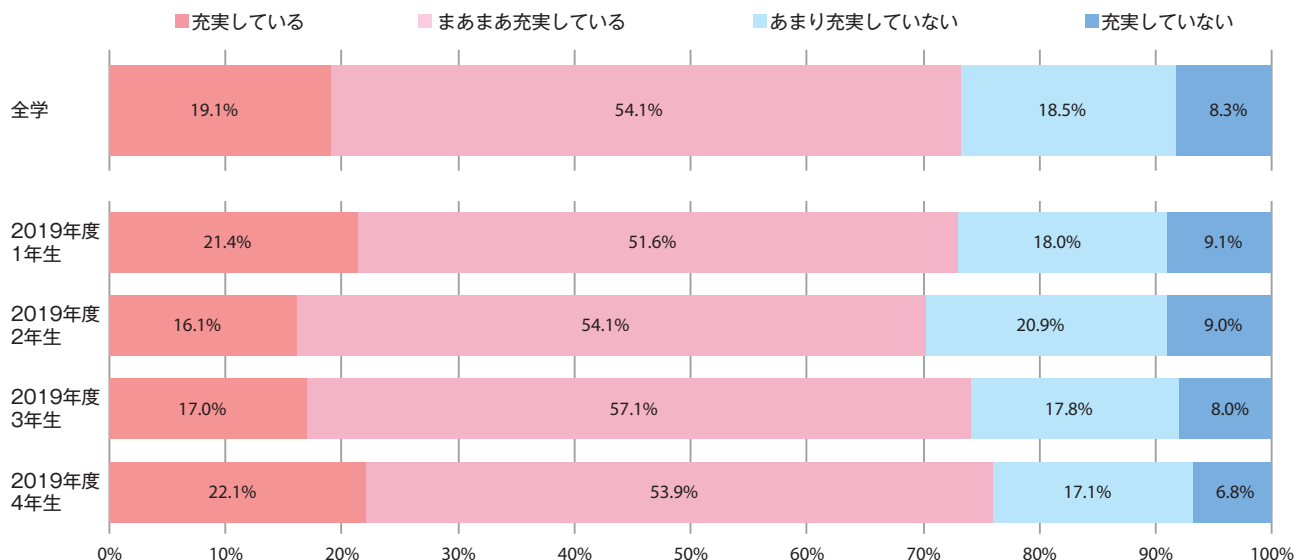
(2) 大学生活満足度（PROG調査2020）

現在、大学生活にはどの程度満足していますか。



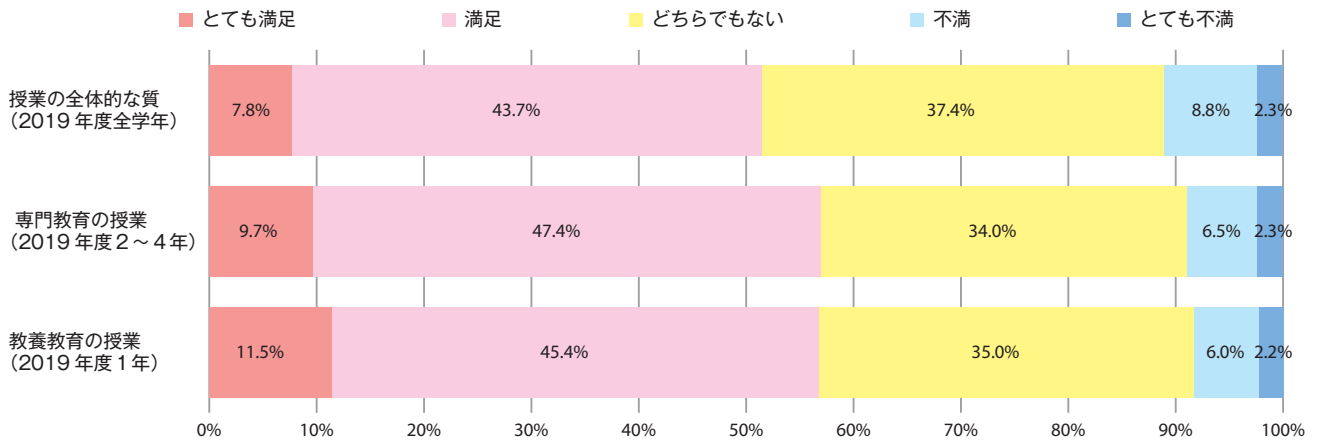
(3) 学生生活充実度（共通学生調査2019）

あなたの学生生活は充実していますか。



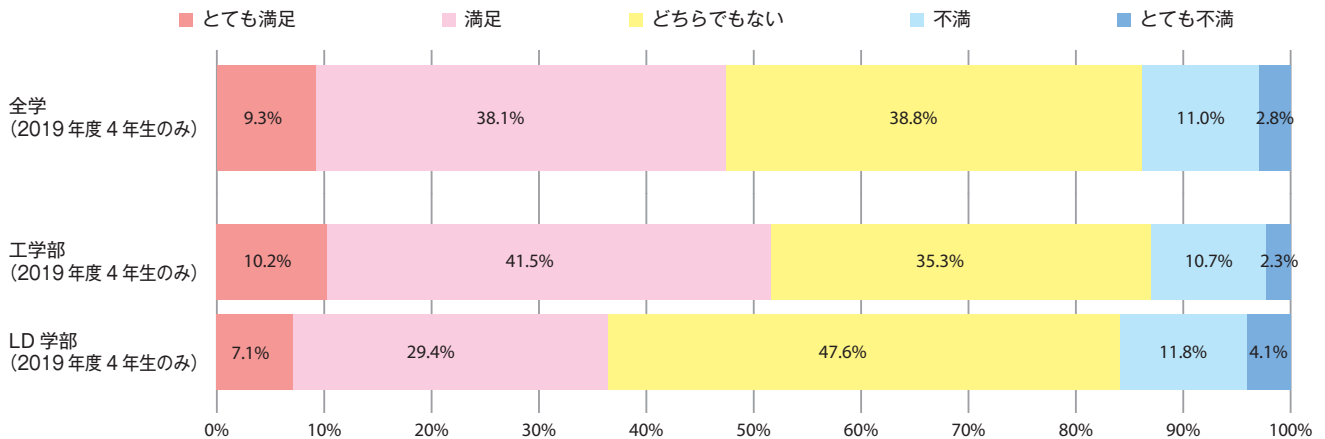
(4) 教育満足度 (共通学生調査 2019)

あなたは、本学の教育内容・環境にどれくらい満足していますか。

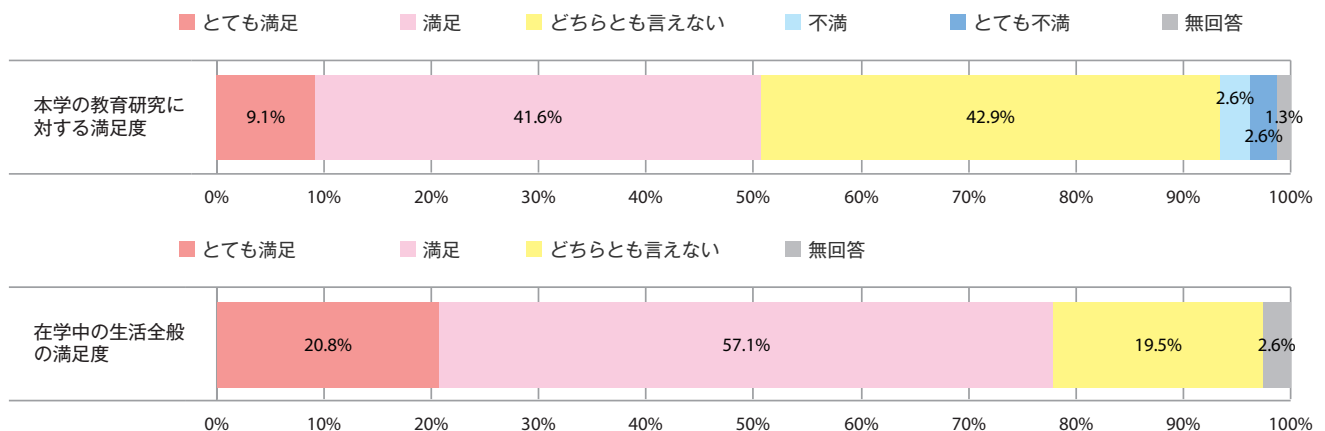


(5) 本学の総合的な満足度 (共通学生調査 2019)

本学の総合的な満足度をお教えてください。



3-3-2 卒業生の満足度 (卒業後調査 2019)

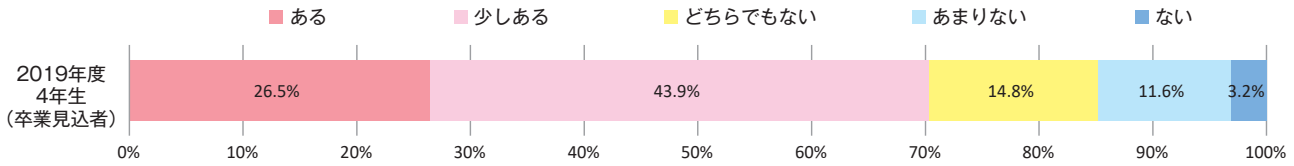


3-4 成長実感

2019年度卒業生の70%以上は成長を実感していますが、約15%の学生はあまり実感を得ていない状況です。在学生についても、8割が成長を実感しており、残り2割の学生は実感していないと回答しています。大学生活で身に付いた（または伸びた）能力項目については、在学生と卒業後5～15年後の卒業生との間で、上位5項目中3項目が共通しており、下位（身に付かなかった割合が多い）7項目にも共通性がみられました。

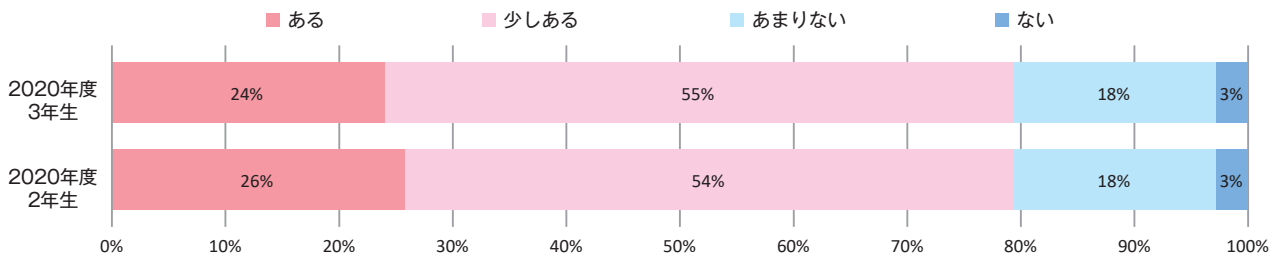
3-4-1 卒業時の成長実感（共通学生調査 2019）

大学生活を振り返って自身が成長した実感はありますか。



3-4-2 在学生の成長実感（PROG 調査 2020）

大学生活を振り返って自身が成長した実感はありますか。



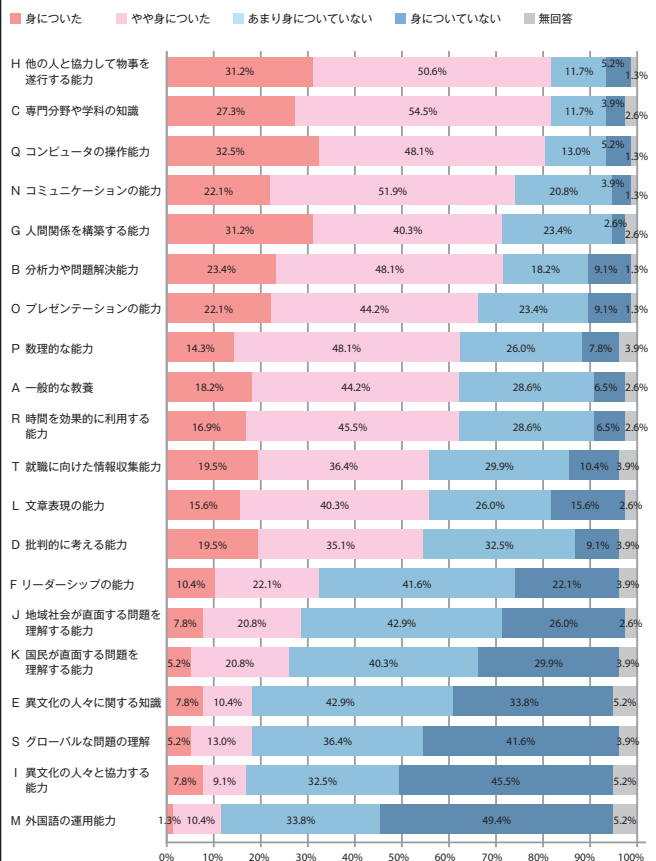
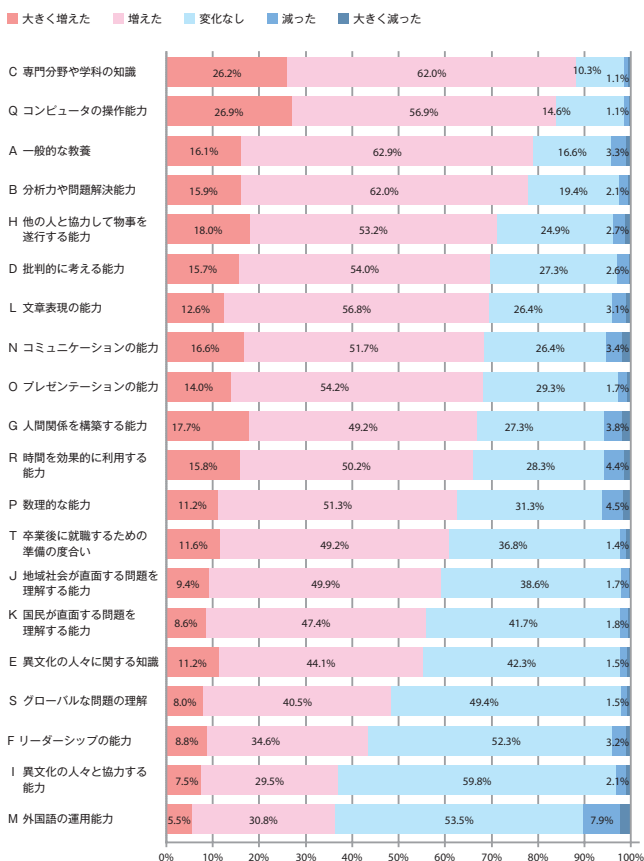
3-4-3 能力の変化（共通学生調査 2019・卒業後調査 2019）

共通学生調査
(全学生)

卒業後調査
(卒業生)

入学した時点と比べて、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。

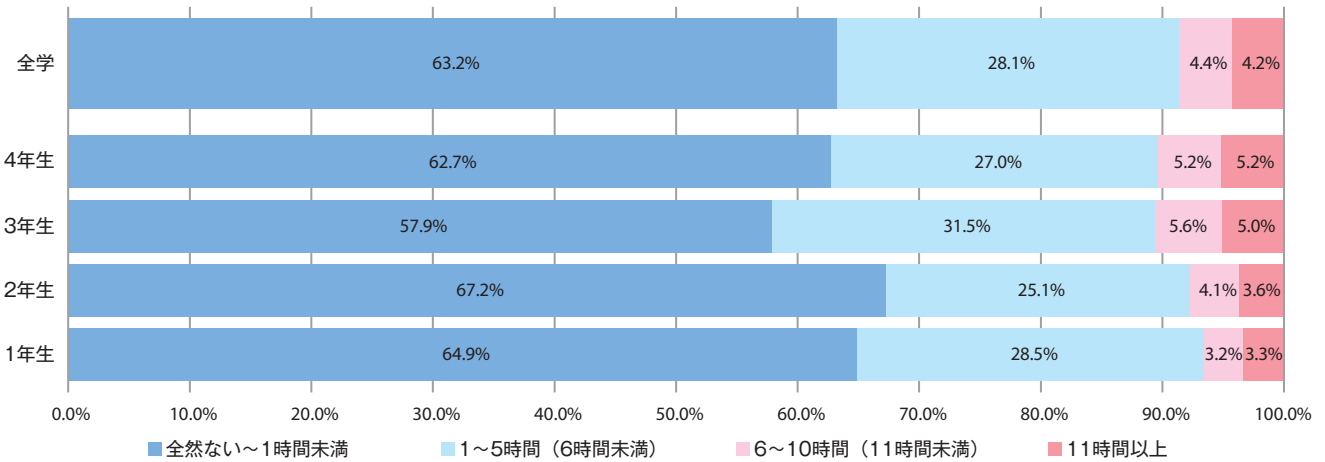
在学中に、以下の能力や知識はどの程度身につきましたか。



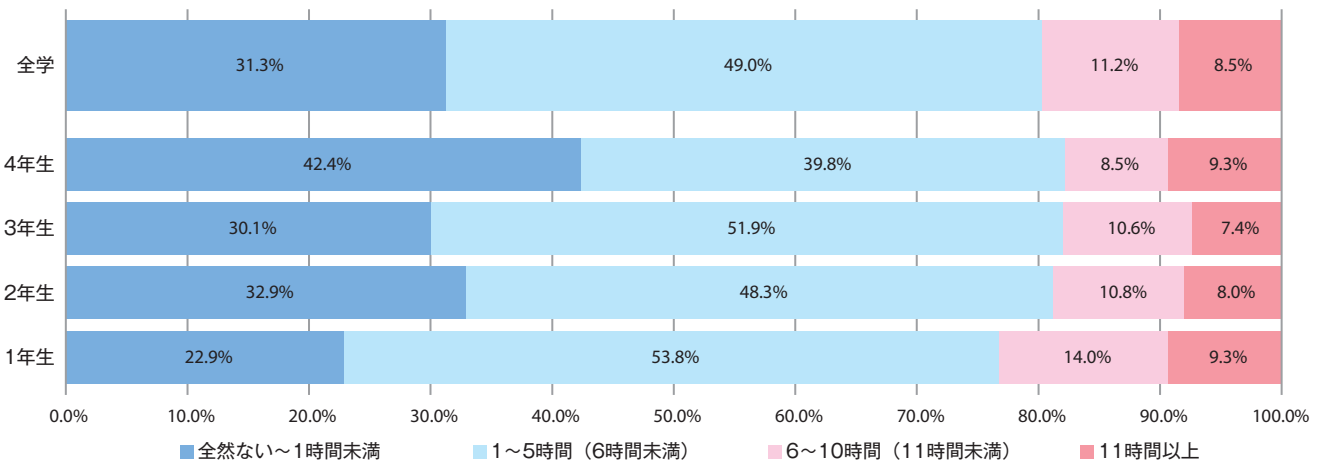
3-5 学修時間

授業時間以外での予習復習等の学修については、約6割の学生が週1時間以下で、ほとんど学修時間を確保しておらず、週6時間以上（1日約1時間以上）勉強している学生は、わずか8.6%でした。一方、授業に関連しない勉強については、7割以上の学生が週1時間以上を費やしており、週6時間以上（1日約1時間以上）勉強している学生は、19.7%でした。

3-5-1 週あたり授業外学修時間（授業課題・準備学習・復習）（共通学生調査 2019）



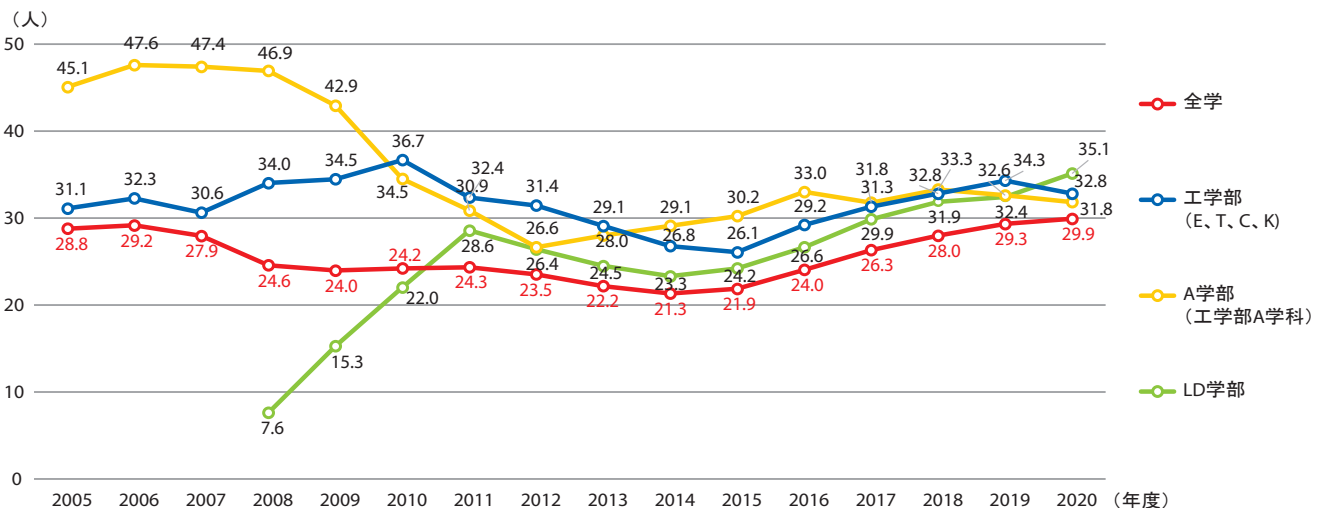
3-5-2 週あたり授業外学修時間（授業に関連しない勉強）（共通学生調査 2019）



3-6 ST比

教員一人あたりの学生数を示す「ST比」は、2016年度以降の在籍者数増加に伴い、上昇傾向にあります。

3-6-1 ST比推移



●実質的な比較をし易くするため、工学部建築学科を工学部から分けて、建築学部と同じ色で表示している

【凡例】

- (1) 年の表記は、原則として西暦で記載し、必要に応じてカッコ内に元号を併記しました。
- (2) 数値データ等（法人概要に記載の情報を含む）の基準日は、各項目において特に指定がある場合を除き、原則として2020年5月1日現在（複数年推移の場合は、各年5月1日現在）としました。
- (3) 財務状況および法人概要については、併設校（仙台城南高校）を含む学園全体の情報を記載しました。
- (4) 「9 仙台城南高校～12 法人概要」において、「高校」とは全て仙台城南高校のことをいいます。
- (5) 学外の統計資料または出版物等から転載したものについては、脚注に典拠を明記しました。
- (6) 男女別のグラフは、女性数の推移を見やすくするために、女性を下に表示しています。
- (7) 学部・学科名称の略記号は、以下のように表記しています。

学部名称	略記号
工学部	工
建築学部（建築学科）	A
ライフデザイン学部	LD

学科名称	略記号
電気電子工学科	E
情報通信工学科	T
建築学科	A
都市マネジメント学科	C
環境応用化学科／環境エネルギー学科	K
産業デザイン学科	CD
生活デザイン学科	SD
経営コミュニケーション学科	MC

- (8) FACT BOOK2020【3-2】～【3-5】で使用したデータの調査概要

調査名	PROG 調査 2019	PROG 調査 2020	共通学生調査 2019	卒業後調査 2019
実施時期	2019.4.4.～4.5	2020.4.10～7.31	2020.1.14～1.31	2020.1.29～2.29
実施対象	2019年度入学生のみ	全学部全学年 (4年生未実施)	全学部全学年	2003年度卒業生 2008年度卒業生 2013年度卒業生
実施方法	マークシート方式	Web方式	Web方式	Web方式
有効回答者数	931名	2,613名	2,888名	77名
有効回答率	99.9%	96.1%	87.3%	4.9%

※ PROG 調査 2020 については、FACT BOOK2020 作成段階で「4年生」が未実施（2020年12月頃に実施予定）のため、1年生～3年生の集計データのみ記載しています。

※ 卒業後調査 2019 については、対象の3年度の卒業生計 2,084 名の内、住所情報がある 1,587 名に調査回答依頼文書を発送しました。